入社式　理事長訓示

日々春を実感できるようになって参りました本日ここに多くの新入職員さんをお迎えでき、とても光栄に思います。今日は若い皆さんに一つ伺いたいことがあります。
さて社会に対する責任とは何でしょうか？
一緒に考えてみましょう。人間若いうちは得てして批判的な意見をもたれがちです。それはそれとして社会にとっては必要なことですが、全体像を把握せずに否定的な答えを見出してしまうことがあります。一言で言えば物事を判断する為の視野が狭いと言えるでしょう。物事を判断する為にはその全体像をよく理解する必要があります。その為には物事を様々な角度から見る必要性があります。皆さんも物事を判断する時は多面的な視点で考えられるように意識してみてください。
　少し話がずれましたが組織という視点で責任について考えてみますと法人や事業者としての社会への責任は職員さん個々の責任が積み重なって成り立っています。事業所として社会への責任を全うする為には職員さん其々の日々の責任ある行動が不可欠です。経営陣側の整備等も当然ありますが私どもは介護サービスを通じて人と人の関わりをサービスとして提供する事業者でございます。従いましてご利用者が満足するサービスを提供できなければ社会への責任は果たせていないということになります。ご利用者が満足するサービスを提供する為には皆さん個々の責任を全うして頂くことが最低条件になります。
　高齢者福祉施設における社会の要望は日々厳しさを増し多様化を極めてきております。その様な厳しい現実の中で皆さんの責任を全うする為には良好な人間関係の構築が必要になります。ご利用者や職員さんは人間ですから色んな方がいらっしゃいます、その様な皆さんと良好な関係を構築する為には謙虚で柔軟な思考が必要になります。時には大人な対応が必要になります。私は人生とは修行の連続だと思います。日々辛いことも多々あると思います。疑問もたくさんあると思いますが、日々謙虚に純粋に生きていただくことが責任を全うすることに繋がると思います。そしてこの責任を果たすことにより皆さんは満足感、幸福感を実感することが出来るでしょう。若い皆さんには是非この点を肝に銘じて日々の業務にあたっていただければと思います。
　最後に皆さんをお迎えすることが出来て職員一同とても嬉しく思います。今後とも宜しくお願い致します。